

ブラジル日本商工会議所
第3回フォーラム

「2021年上期回顧と今後の展望」



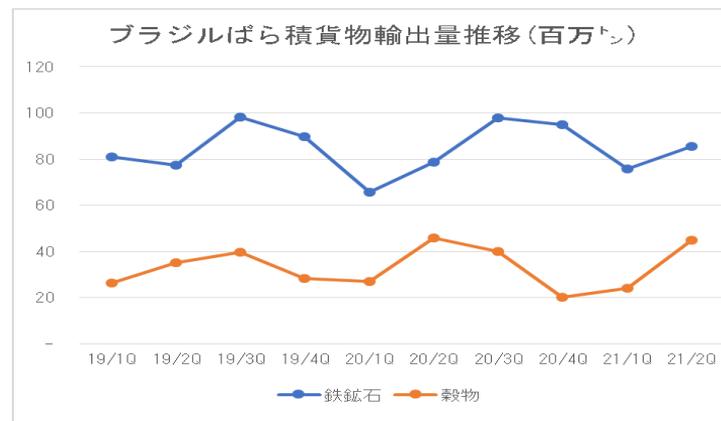
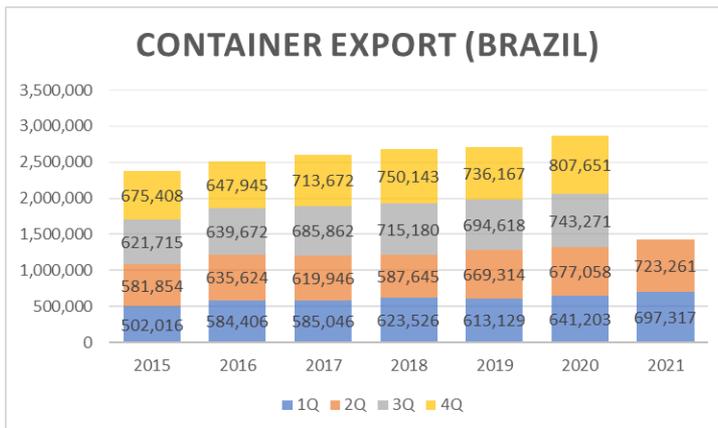
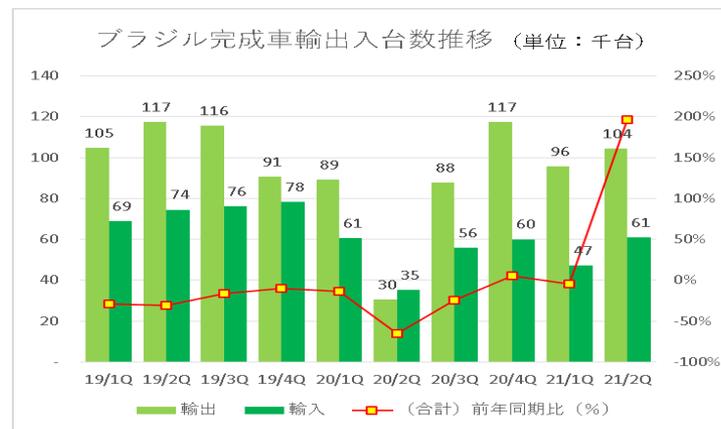
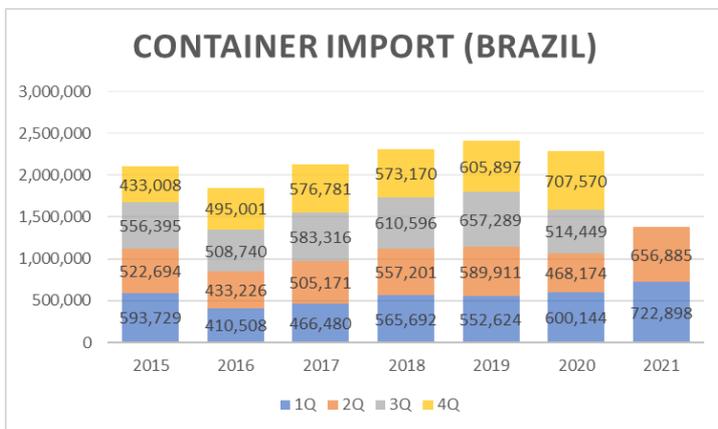
運輸サービス部会
2021年9月1日



海運

2021年上期回顧

- ◆ ブラジルの2021年上期コンテナ輸出入数量は過去6年で最高を記録、前年同期比で輸入29%、輸出8%、合計で17%の伸び。Covid-19による巣ごもり需要により輸入は消費材工業材共に強く、輸出は主要貨物である食肉、木材など強い。一方、Covid-19の影響による世界中の港湾・本船・内陸地における稼働率低下により、サプライチェーンの混乱が生じている状況。各地でスペース不足、コンテナ不足、貨物配送スケジュール遅延が起きておりブラジルも例外では無い。
- ◆ ブラジルの自動車輸入はコロナ勃発直後の最悪期になった前年同期との比較では68%の増加、輸出は12%の増。世界的には欧米の需要が強く、自動車専用船はタイトな状況。
- ◆ ドライバルク貨物の輸出の代表格である鉄鉱石は伯シッパーの堅調な生産と中国の旺盛な需要に支えられ前年同期比+11%の伸びを記録。一方で大豆・トウモロコシに代表される穀物の輸出は▲8%の減。





海運

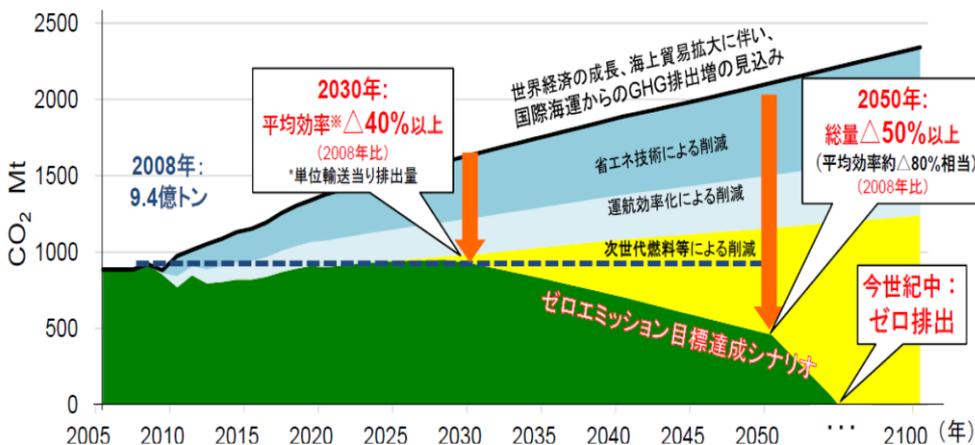
今後の展望

- ◆ コンテナ輸送については、各船会社・各国ターミナル共に諸々の対処をしているものの、全体的な港の混雑・本船のスケジュール遅延・コンテナの不足などは続いている。Covid-19の影響が引き続き随所で発生しており、21年一杯は現状の混乱が続く見通し。また貨物量についても、Covid-19の状況が落ち着けばモノからサービスへの需要の回帰が起き、コンテナ輸送量は多少緩和されるというのが一般的な見方ではあるが、現状はクリスマス商戦のピークであるため暫くは強い見通し。
- ◆ 完成車輸送は、コロナ前の水準に戻ることが期待されるも、部品供給不足問題による出荷減が懸念点。
- ◆ ドライバルク輸送は、鉄鉱石に関しては上期同様に堅調な荷動きを予想。穀物はブラジル南部での寒波や早魃など天候不順の影響が懸念されるも、ほぼ前年比同レベルを期待。
- ◆ 国際海事機関（IMO）にて採決された2050年迄のGHG排出50%削減目標達成に向けて、外航海運では世界的に重油から代替燃料への転換に向けての検討が急速に進行中。

環境規制問題

2018年4月、IMOは船舶からの温室効果ガス（GHG）を2050年迄に2008年の50%（≒約5億ト）の水準まで削減する事を決定。

2008年 50% 約 5億トン → 2050年には、発生が見込まれるGHG（≒約20億ト）の約80%の削減が必要。





航空貨物

2021年度上期回顧

【世界のトレンド】

1. 航空貨物需要は引き続き堅調
 2. 2021年6月実績は、2019年6月と比較し重量ベースで9.9%増
北米、アフリカ地域は貨物量伸長率が高、ラテンアメリカは低
 3. 航空貨物が競争力のある輸送モードに
 - ・サプライチェーン状況良好 / 在庫対売り上げ高比率が低 / コンテナ輸送と比較した容易性
- ☆Key: リードタイム短縮

【ブラジルのトレンド】

1. 輸出・輸入とも2019年を上回る貨物量（GRU+VCP）別表
2. 貨物量 > 貨物輸送能力 例)海上輸送から航空輸送への振替え需要
3. 運賃高騰 & スポットレート適用

【燃料費動向】

1. 2020年4月を底に上昇傾向

今後の展望

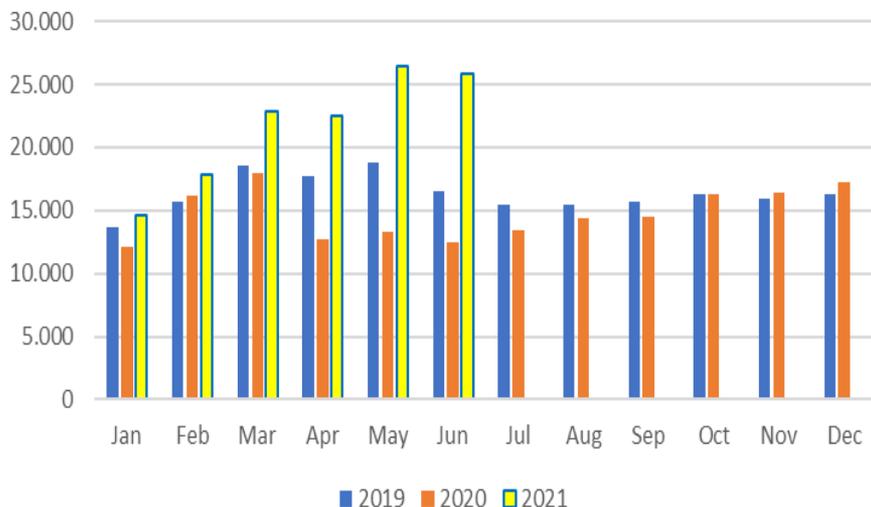
- ・ 航空貨物は海上コンテナ輸送動向の影響を受けやすい状況が続く
 - ・ 航空貨物のピークシーズンは10月より
 - ・ 旅客便の再運航はパンデミック収束次第
 - ・ 安全在庫確保が落ち着くと航空需要は下がる
- ⇒ 航空貨物スペース、運賃の高止まり解消は来年以降の見通し



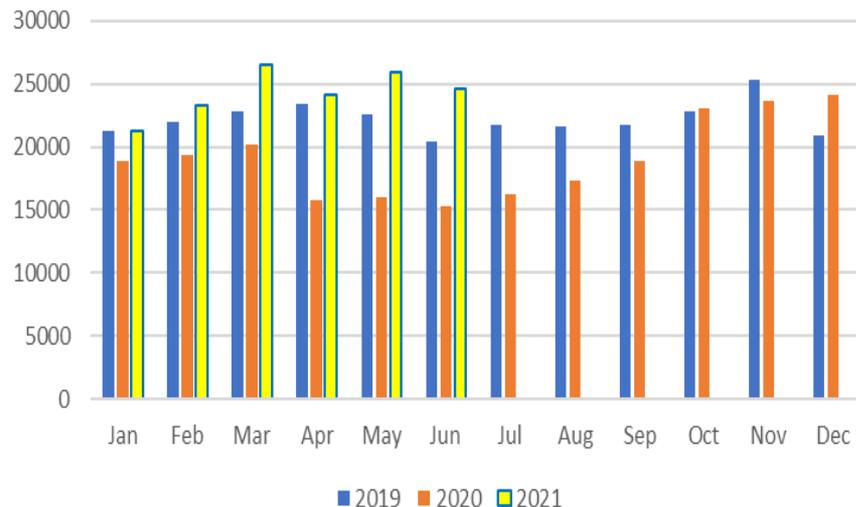
<GRU & VCP空港 航空貨物輸出入取扱数量 単位トン>

航空貨物

Air Export volume trend (GRU+VCP)
2019 - 2021



Air Import volume trend (GRU+VCP)
2019 - 2021



2021 vs 2019 (累計(Jan-Jun))
+28,9%

2021 vs 2019 (累計(Jan-Jun))
+10,0%

(数値出典元 : GRU AIRPORT CARGO, VCP AEROPORT ,INFRAEO CARGO)



航空貨物

2021年度上期回顧

【世界のトレンド】

1. 航空貨物需要は引き続き堅調
 2. 2021年6月実績は、2019年6月と比較し重量ベースで9.9%増
北米、アフリカ地域は貨物量伸長率が高、ラテンアメリカは低
 3. 航空貨物が競争力のある輸送モードに
 - ・サプライチェーン状況良好 / 在庫対売り上げ高比率が低 / コンテナ輸送と比較した容易性
- ☆Key: リードタイム短縮

【ブラジルのトレンド】

1. 輸出・輸入とも2019年を上回る貨物量（GRU+VCP）別表
2. 貨物量 > 貨物輸送能力 例)海上輸送から航空輸送への振替え需要
3. 運賃高騰 & スポットレート適用

【燃料費動向】

1. 2020年4月を底に上昇傾向

今後の展望

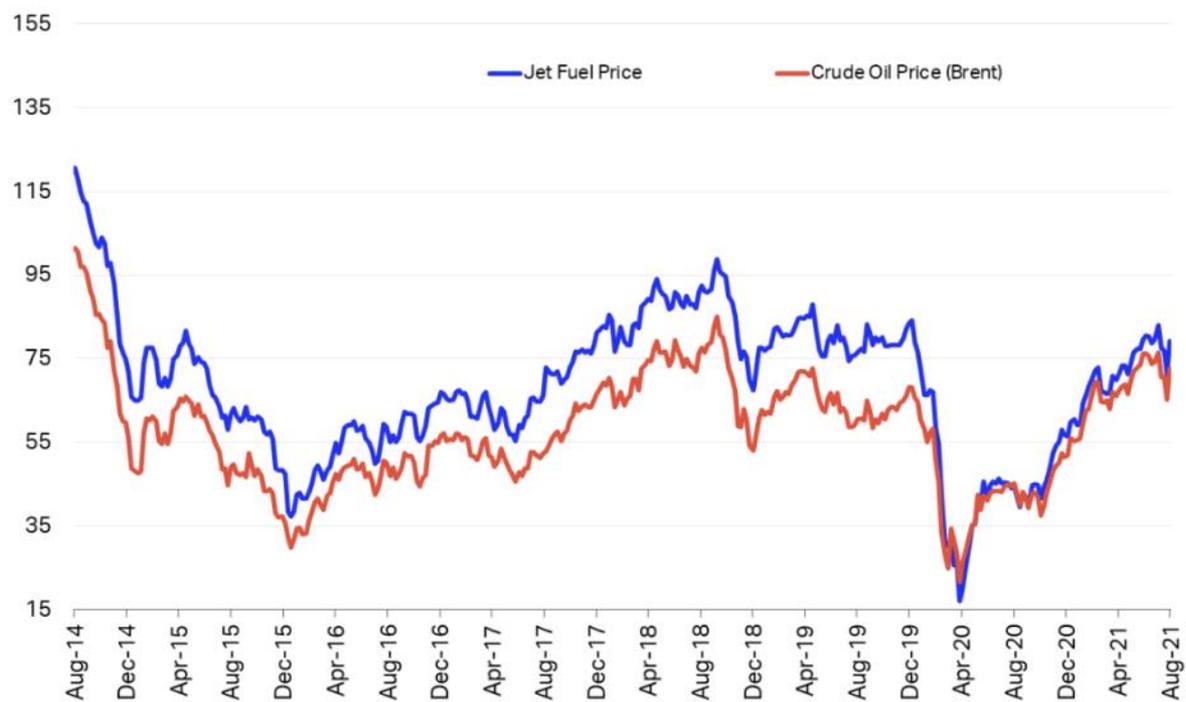
- ・ 航空貨物は海上コンテナ輸送動向の影響を受けやすい状況が続く
 - ・ 航空貨物のピークシーズンは10月より
 - ・ 旅客便の再運航はパンデミック収束次第
 - ・ 安全在庫確保が落ち着くと航空需要は下がる
- ⇒ 航空貨物スペース、運賃の高止まり解消は来年以降の見通し



航空貨物

<ジェット燃料/原油価格推移(青:JET燃料)>

Jet Fuel & Crude Oil Price (\$/barrel)



Source: Platts, Datastream



航空貨物

2021年度上期回顧

【世界のトレンド】

1. 航空貨物需要は引き続き堅調
 2. 2021年6月実績は、2019年6月と比較し重量ベースで9.9%増
北米、アフリカ地域は貨物量伸長率が高、ラテンアメリカは低
 3. 航空貨物が競争力のある輸送モードに
 - ・サプライチェーン状況良好 / 在庫対売り上げ高比率が低 / コンテナ輸送と比較した容易性
- ☆Key: リードタイム短縮

【ブラジルのトレンド】

1. 輸出・輸入とも2019年を上回る貨物量（GRU+VCP）別表
2. 貨物量 > 貨物輸送能力 例)海上輸送から航空輸送への振替え需要
3. 運賃高騰 & スポットレート適用

【燃料費動向】

1. 2020年4月を底に上昇傾向

今後の展望

- ・ 航空貨物は海上コンテナ輸送動向の影響を受けやすい状況が続く
 - ・ 航空貨物のピークシーズンは10月より
 - ・ 旅客便の再運航はパンデミック収束次第
 - ・ 安全在庫確保が落ち着くと航空需要は下がる
- ⇒ 航空貨物スペース、運賃の高止まり解消は来年以降の見通し



その他 物流関係

2021年度上期回顧

- ・ サントス港中心にトラック運転手のストライキ発生（7月）
- ・ 「Alerta Malha Fina」の通達 対象：パラグアイ-ブラジル間
- ・ 輸入申告時の書類精度が低い場合、以降の輸入申告に影響有り
- ・ 駐在員引越件数減（2019年比較で約60%）

今後の展望

- ・ トラックストライキの懸念は引き続き注視要
 - ・ DU-IMP（新税関システム）：下半期或いは来年度導入
 - ・ 税関検査担当官の回転制度：審査する検査官が申告管轄以外の検査官が実施する制度
- ⇒通関所要L/Tの長期化に繋がる可能性有り
インボイス内容（INCOTERMS, 価格, 重量, 原産国）は
要注意事項

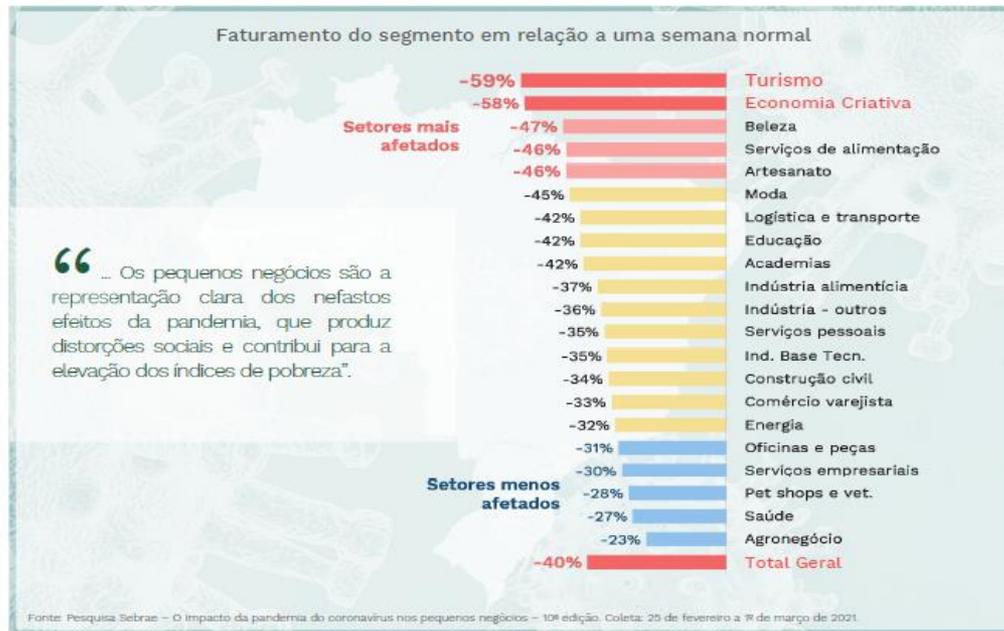


2021年度上期回顧

旅行・ホテル
航空旅客
レンタカー

●2020年新型コロナのパンデミック発生後から2021年度上半期まで、各国の経済活動制限、国境封鎖、入国後の隔離措置などにより、旅行需要は激減し、観光関連事業者の業績は大幅に悪化している。

ブラジル国内の業種別売上高を見ても観光業が最大の減少率。



今後の展望

プラス要因

- ワクチン接種の進展と共にブラジル国内旅行(レジャー、出張)需要が回復傾向。
- 2021年秋頃より、欧米、南米各国の入国制限が緩和されることが予想される。

マイナス要因

- デルタ、ラムダ株による感染再拡大。
- 日本の感染状況と政府の水際対策。航空座席の販売上限の設定。



ワクチンパスポート



旅行・ホテル 航空旅客 レンタカー

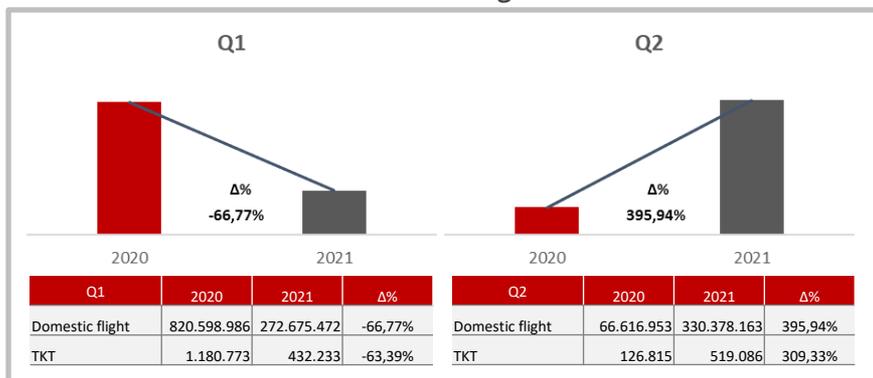
2021年度上期回顧

2021年2Qより国内を中心に徐々に旅行需要が回復している。

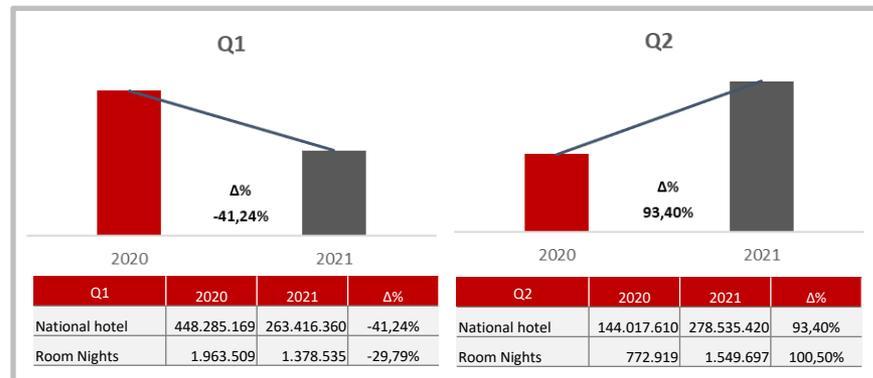
Total Sales per Quarter

Currency: BRL

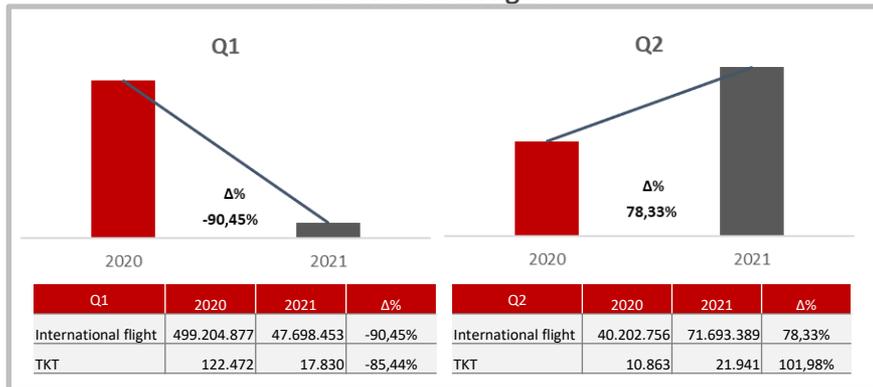
Domestic Flight



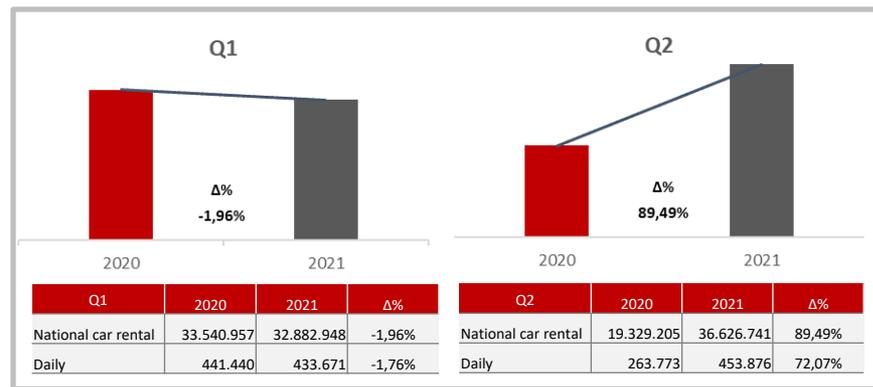
National hotel



International Flight



National car rental



Fonte: ABRACORP. BI ABRACORP: Pesquisa de Vendas da ABRACORP 2021. Disponível em: <<https://www.abracorp.org.br/bi/>>. Acesso em: 17 de Ago. de 2021.

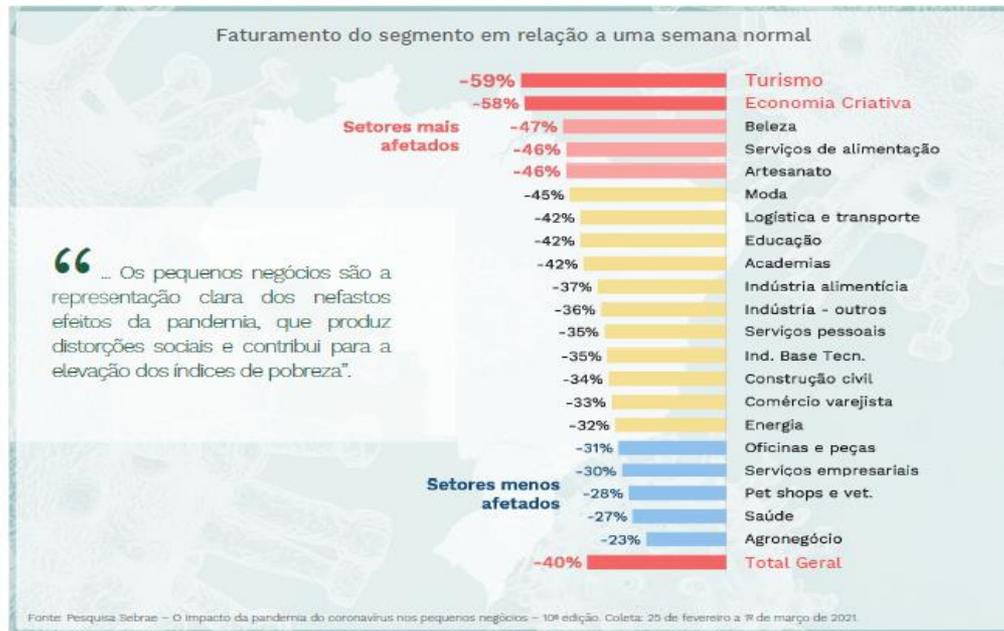


2021年度上期回顧

旅行・ホテル
航空旅客
レンタカー

●2020年新型コロナのパンデミック発生後から2021年度上半期まで、各国の経済活動制限、国境封鎖、入国後の隔離措置などにより、旅行需要は激減し、観光関連事業者の業績は大幅に悪化している。

ブラジル国内の業種別売上高を見ても観光業が最大の減少率。



今後の展望

プラス要因

- ワクチン接種の進展と共にブラジル国内旅行(レジャー、出張)需要が回復傾向。
- 2021年秋頃より、欧米、南米各国の入国制限が緩和されることが予想される。

マイナス要因

- デルタ、ラムダ株による感染再拡大。
- 日本の感染状況と政府の水際対策。航空座席の販売上限の設定。



ワクチンパスポート